

関西電力における供給力比較

	3/15 (実績値)	3/12~3/16 (3/2 公表)
原子力	0	0
火力	1,389	1,457
水力	250	158
揚水	459	141
他社受電	560	493
(合計)	2,658	2,248

〈出典〉資源エネルギー庁作成資料

① 平成24年3月22日 内閣委員会配布資料 民主党・新緑風会 はたしもん

再来週以降の需給見通し

(平成24年3月2日時点)

【11/1に公表した需給見通し】

(発電端:万kW)

	3/12~3/16	3/19~3/23
需 要	2,459	2,336
供給力	2,243	2,210
需給ギャップ	▲216	▲125
	▲8.8%	▲5.4%

供給力を更新

【今回(3/2)公表した需給見通し】

(発電端:万kW)

	3/12~3/16	3/19~3/23
需 要	2,459	2,336
供給力	2,248	2,239
需給ギャップ	▲211	▲97
	▲8.6%	▲4.1%

2/24から変更なし

関西電力 11月～3月の需給バランス実績

[万kW]				
月日	曜日	供給力	最大電力	予備率
11月1日	火	2350	1961	19.8%
11月2日	水	2290	1957	17.0%
11月3日	木	2190	1829	19.7%
11月4日	金	2260	1954	15.7%
11月5日	土	2090	1815	15.2%
11月6日	日	2090	1738	20.3%
11月7日	月	2330	1951	19.4%
11月8日	火	2290	1937	18.2%
11月9日	水	2350	1954	20.3%
11月10日	木	2340	1982	18.1%
11月11日	金	2320	1969	17.8%
11月12日	土	2120	1761	20.4%
11月13日	日	2070	1684	22.9%
11月14日	月	2380	1959	21.5%
11月15日	火	2370	1977	19.9%
11月16日	水	2430	1975	23.0%
11月17日	木	2320	2013	15.3%
11月18日	金	2430	2018	20.4%
11月19日	土	2240	1850	21.1%
11月20日	日	1940	1738	11.6%
11月21日	月	2500	2071	20.7%
11月22日	火	2490	2077	19.9%
11月23日	水	2280	1938	17.6%
11月24日	木	2470	2141	15.4%
11月25日	金	2470	2124	16.3%
11月26日	土	2230	1909	16.8%
11月27日	日	2120	1821	16.4%
11月28日	月	2460	2126	15.7%
11月29日	火	2440	2057	18.6%
11月30日	水	2490	1996	24.7%

[万kW]				
月日	曜日	供給力	最大電力	予備率
12月1日	木	2710	2126	27.5%
12月2日	金	2711	2137	26.9%
12月3日	土	2344	1851	26.6%
12月4日	日	2431	1804	34.8%
12月5日	月	2732	2126	28.5%
12月6日	火	2672	2174	22.9%
12月7日	水	2662	2116	25.8%
12月8日	木	2664	2203	20.9%
12月9日	金	2779	2264	22.7%
12月10日	土	2780	2015	38.0%
12月11日	日	2582	1954	32.1%
12月12日	月	2669	2239	19.2%
12月13日	火	2658	2201	20.8%
12月14日	水	2753	2155	27.7%
12月15日	木	2680	2176	23.2%
12月16日	金	2804	2313	21.2%
12月17日	土	2690	2080	29.3%
12月18日	日	2533	1986	27.5%
12月19日	月	2786	2267	22.9%
12月20日	火	2780	2278	22.0%
12月21日	水	2781	2233	24.5%
12月22日	木	2806	2228	25.9%
12月23日	金	2658	2176	22.2%
12月24日	土	2676	2119	26.3%
12月25日	日	2621	2110	24.2%
12月26日	月	2790	2404	16.1%
12月27日	火	2685	2308	16.3%
12月28日	水	2754	2217	24.2%
12月29日	木	2549	1928	32.2%
12月30日	金	2457	1889	30.1%
12月31日	土	2490	1783	39.7%

[万kW]				
月日	曜日	供給力	最大電力	予備率
1月1日	日	2247	1569	43.2%
1月2日	月	2324	1686	37.8%
1月3日	火	2343	1743	34.4%
1月4日	水	2627	2050	28.1%
1月5日	木	2664	2293	16.2%
1月6日	金	2669	2295	16.3%
1月7日	土	2665	2177	22.4%
1月8日	日	2575	2029	26.9%
1月9日	月	2575	2088	23.3%
1月10日	火	2790	2252	23.9%
1月11日	水	2835	2347	20.8%
1月12日	木	2706	2371	14.1%
1月13日	金	2764	2311	19.6%
1月14日	土	2669	2111	26.4%
1月15日	日	2619	2039	28.4%
1月16日	月	2750	2388	15.2%
1月17日	火	2836	2303	23.1%
1月18日	水	2818	2299	22.6%
1月19日	木	2844	2395	18.7%
1月20日	金	2832	2295	23.4%
1月21日	土	2757	2420	13.9%
1月22日	日	2807	2303	21.9%
1月23日	月	2807	2303	21.9%
1月24日	火	2776	2415	14.9%
1月25日	水	2781	2416	15.1%
1月26日	木	2773	2447	13.3%
1月27日	金	2729	2386	14.4%
1月28日	土	2761	2163	27.6%
1月29日	日	2630	2126	23.7%
1月30日	月	2673	2405	11.1%
1月31日	火	2730	2392	14.1%

[万kW]				
月日	曜日	供給力	最大電力	予備率
2月1日	水	2772	2433	13.9%
2月2日	木	2769	2578	7.4%
2月3日	金	2639	2467	7.0%
2月4日	土	2721	2191	24.2%
2月5日	日	2652	2066	28.4%
2月6日	月	2761	2350	17.5%
2月7日	火	2834	2267	25.0%
2月8日	水	2718	2425	12.1%
2月9日	木	2721	2449	11.1%
2月10日	金	2721	2360	15.3%
2月11日	土	2641	2082	26.8%
2月12日	日	2604	2090	24.6%
2月13日	月	2686	2442	10.0%
2月14日	火	2758	2378	16.0%
2月15日	水	2704	2359	14.6%
2月16日	木	2716	2362	15.0%
2月17日	金	2889	2364	22.2%
2月18日	土	2595	2261	14.8%
2月19日	日	2671	2119	26.1%
2月20日	月	2826	2306	22.5%
2月21日	火	2768	2320	19.3%
2月22日	水	2744	2208	24.3%
2月23日	木	2533	2193	15.5%
2月24日	金	2709	2111	28.3%
2月25日	土	2613	2007	30.2%
2月26日	日	2618	2086	25.5%
2月27日	月	2694	2387	12.9%
2月28日	火	2671	2320	15.1%
2月29日	水	2736	2255	21.3%

[万kW]				
月日	曜日	供給力	最大電力	予備率
3月1日	木	2641	2140	23.4%
3月2日	金	2671	2157	23.8%
3月3日	土	2575	1897	35.7%
3月4日	日	2549	1965	29.7%
3月5日	月	2656	2196	20.9%
3月6日	火	2575	2038	26.3%
3月7日	水	2630	2058	27.8%
3月8日	木	2576	2078	24.0%
3月9日	金	2667	2189	21.8%
3月10日	土	2535	1947	30.2%
3月11日	日	2568	1966	30.6%
3月12日	月	2648	2308	14.7%
3月13日	火	2608	2264	15.2%
3月14日	水	2625	2177	20.6%
3月15日	木	2658	2205	20.5%

③ <出典> 資源工社様一方向作成資料

来夏の需給見通し

- 原発の再起動がなく、昨年の夏並みのピーク需要となった場合、約1割(▲9.2%、▲1,656万kW)のピーク不足。
- 今夏の節電実績を前提とすれば、日本全体で+4.1%(638万kW)の予備率に(電気の使用制限を発動した今年の夏の節電実績は、東北▲15.8%、東電▲18.0%)。他方、揚水汲み上げ電力不足、燃料の輸送制約、長期停止火力の復帰の遅れなどのリスクから、合計約▲3.1%(560万kW)の供給減のおそれあり。電気の使用制限は、生産・産業活動に大きな影響を与えることから、それに代えて、予算や制度改革の支援により、無理のない範囲での節電の定着を図ることが有効。

1. 昨年並の猛暑を想定した最大電力需要の場合 (原子力の再起動がなく、各社の供給力に原子力を全く含まない場合) [7/29 エネルギー・環境会議]

8月	(万kW)	東3社	北海道	東北	東京	中西6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
	供給-需要 (予備率)	▲834 (▲10.4%)	▲32 (▲6.4%)	5 (0.3%)	▲807 (▲13.4%)	▲823 (▲8.3%)	41 (1.5%)	▲605 (▲19.3%)	▲9 (▲1.5%)	33 (2.7%)	▲67 (▲11.3%)	▲216 (▲12.3%)	▲1,656 (▲9.2%)
最大電力需要	7,986	506	1,480	6,000	9,968	2,709	3,138	573	1,201	597	1,750	17,954	
供給力	7,152	474	1,485	5,193	9,145	2,750	2,533	565	1,234	529	1,534	16,297	

▲15.8% ▲18.0% ▲11.3% ▲12.8%
 東北/東京は電気の使用制限の発動、関西は数値目標付きの節電による効果

(来夏の供給力の見通しを前提として、需要が電気の使用制限等を発動した本年並みと置いた場合の予備率の変化)

2. 最大電力需要が今夏ピーク実績 (電気の使用制限を行い、昨年並みの暑さであり、IIP(鉱工業生産指数)が低かった今夏)と同程度の場合

8月	(万kW)	東3社	北海道	東北	東京	中西6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
	供給-需要 (予備率)	449 (7.5%)	▲11 (▲2.3%)	239 (19.2%)	271 (5.5%)	137 (1.5%)	230 (9.1%)	▲251 (▲9.0%)	32 (5.9%)	151 (13.9%)	▲15 (▲2.7%)	▲10 (▲0.6%)	636 (4.1%)
今夏ピーク実績	6,653	485	1,246	4,922	9,008	2,520	2,784	533	1,083	544	1,544	15,661	
供給力	7,152	474	1,485	5,193	9,145	2,750	2,533	565	1,234	529	1,534	16,297	